高槻市には
豊かな自然がいっぱい！

たかつきし
高槻市

生物多様性って？

生物多様性とは、「生き物たちの豊かな個性とつながり」のこと。

私たち人も含めた多くの種類の生き物は、自分たちの生きる場所を見つけ、互いに違いを活かしながら調和しています。この調和していることを生物多様性といいます。

宮田春日神社（樹林保護地区）

モリアオガエル（保護動物）

※

真上公民館（保護樹木）

※

カジカガエル（保護動物）

※

ヒダサンショウウオ（保護動物）

※

ゲンジボタル（保護動物）

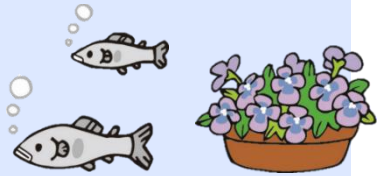
※【写真提供】あくあぴあ芥川共同活動体
（高槻市立自然博物館 指定管理者）

3つの多様性とは？

生物多様性を守るには、次の3つのレベルで保全していくことが重要です。

3つの多様性

①生態系の多様性	いろいろなタイプの自然があること	森林、里地里山、河川など、いろいろなタイプの自然があります。
②種の多様性	いろいろな生き物がいること	動物、植物、微生物など、いろいろな生き物がいます。
③遺伝子の多様性	同じ種でも多様な個性があること	同じ種でも異なる遺伝子を持つことにより、形や模様などに多様な個性があります。



高槻のこんなところに豊かな自然が！

高槻市には、森林、里山、芥川、鵜殿のヨシ原など、さまざまな生き物が関わりあう生態系の豊かな地域が数多く残されています。

それぞれの環境には、その環境にあった生き物が生息しています。

どこにどのような生き物がいるのか見てみましょう！

※【写真提供】あくあぴあ芥川共同活動体
（高槻市立自然博物館 指定管理者）

高槻市の取組

高槻市では、「豊かな環境をもつみどりが多様な生き物のすみかとなり、人と生き物が持続的に共生できるまち」を実現するため、さまざまな取組を進めていきます。

生き物の生息環境の保全

市内のいろいろな地域で、多くの生き物が生息する環境を守ります。津之江公園自然再生エリアでは、市民と協力して保全に向けた取組を進めます。

草かりなどの整備活動

植物や昆虫、野鳥の観察会

小学生向けの環境学習

特定外来生物の駆除

特定外来生物の駆除に、市民や関係機関と協力して取り組みます。農業や生態系への被害の拡大を防ぐため、根気よく取り組む必要があります。

特定外来生物の駆除活動

アライグマ

※

クビアカツヤカミキリの成虫

クビアカツヤカミキリの幼虫が排出するフラス

生物多様性保全の市民への啓発

市民の主体的な活動につながるよう、人と動植物が共生することの重要性などをわかりやすく情報発信し、市民への啓発を図ります。

高槻市立自然博物館（あくあぴあ芥川）

※

高槻市立自然博物館（あくあぴあ芥川）は、高槻の自然がわかるみんなの博物館です。生き物の質問や相談などがありましたら、気軽にお問合せください。

※【写真提供】あくあぴあ芥川共同活動体（高槻市立自然博物館 指定管理者）